

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# Dara-Ld 療法

## 4 週毎 コース予定

疾患名 多発性骨髄腫

主治医 指導医 HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

(スケジュール)

### 【1-2 コース目】

《注射》		day1	...	day8	...	day15	.....	day22	
ダラザレックス(ダラツムマブ)	16 mg/kg	↓		↓		↓		↓	
《内服》		day1	2	.....	day9	.....	day16	...	day21・day23
レナデックス(デキサメタゾン)	20 mg/body	↓		↓		↓		↓	
レブラミド(レナリドミド)	25 mg/body	↓	.....	↓	.....	↓	.....	↓	

### 【3-6 コース目】

《注射》		day1	.....	day15					
ダラザレックス(ダラツムマブ)	16 mg/kg	↓		↓					
《内服》		day1	2	.....	day9	.....	day16	...	day21・day23
レナデックス(デキサメタゾン)	{ 20 mg/body 40 mg/body	↓		↓		↓		↓	
レブラミド(レナリドミド)	25 mg/body	↓	.....	↓	.....	↓	.....	↓	

### 【7 コース目以降】

《注射》		day1							
ダラザレックス(ダラツムマブ)	16 mg/kg	↓							
《内服》		day1	2	.....	day9	.....	day16	...	day21・day23
レナデックス(デキサメタゾン)	{ 20 mg/body 40 mg/body	↓		↓		↓		↓	
レブラミド(レナリドミド)	25 mg/body	↓	.....	↓	.....	↓	.....	↓	

【注意】 \*インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を用いて投与すること

\*本剤は 50mL/時間の投与速度で点滴静注を開始し、患者の忍容性が良好な場合は、患者の状態を観察しながら、投与速度を段階的に上げることができる。ただし、投与速度は 200mL/時間を超えないこと。

\*初回投与開始時から 3 時間以内に Infusion reaction が認められなかった場合、2 回目以降、希釈後総量 500mL にすることができる。また初回及び 2 回目投与時に最終速度が 100mL/時以上で Infusion reaction が認められなかった場合、3 回目以降 100mL/時から開始することができる。

## DLd 療法

\*慢性閉塞性肺疾患もしくは気管支喘息のある患者又はそれらの既往歴のある患者の場合は本剤投与後処置として気管支拡張薬、吸入ステロイドの投与を考慮すること。

\*ST 合剤やアシクロビル等の内服を考慮する

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

### 【全コース共通】

day 1-21

レブラミドカプセル

内服

### 【1 コース目】

day 1

- |                                   |              |
|-----------------------------------|--------------|
| ① 生食 500 mL にて血管確保                | 維持 (20mL/時間) |
| ② レスタミン (10mg) 5 錠                | 内服           |
| カロナール (500mg) 2 錠                 | 内服           |
| モンテルカスト (10mg) 1 錠                | 内服           |
| ③ デキサメタゾン注 16.5mg (5mL) + 生食 20mL | 側管静注         |

☆ 1 時間後より

- ④ ダラザレックス + 生食 適量(全量 1000mL)

\*初回は希釈後の総量 1000mL とし点滴静注を開始(※注意参照)

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注を開始(※注意参照)

- ⑤ 50 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

- ⑥ 100 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、

◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注

- ⑦ 150 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、

◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

## DLd 療法

### day 8

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② レスタミン (10mg) 5 錠 内服  
カロナール (500mg) 2 錠 内服  
モンテルカスト (10mg) 1 錠 内服
- ③ デキサメタゾン注 16.5mg (5mL) + 生食 20mL 側管静注  
☆ 1 時間後より
- ④ ダラザレックス + 生食 適量(全量 500mL)  
\*希釈後の総量 500mL とし点滴静注を開始(※注意参照)  
◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注を開始(※注意参照)
- ⑤ 50 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、  
◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 100 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、  
◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注
- ⑦ 150 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、  
◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

### day 15, 22

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② レスタミン (10mg) 5 錠 内服  
カロナール (500mg) 2 錠 内服  
モンテルカスト (10mg) 1 錠 内服
- ③ デキサメタゾン注 16.5mg (5mL) + 生食 20mL 側管静注  
☆ 1 時間後より
- ④ ダラザレックス + 生食 適量(全量 500mL)  
\*希釈後の総量 500mL とし点滴静注を開始(※注意参照)  
◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注を開始(※注意参照)
- ⑤ 100 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、  
◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、  
◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

### day 2, 9, 16, 23

レナデックス錠 20mg 内服

## 【2 コース目】

day 1, 8, 15, 22

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② レスタミン (10mg) 5 錠 内服
  - カロナール (500mg) 2 錠 内服
  - モンテルカスト (10mg) 1 錠 内服
- ③ デキサメタゾン注 16.5mg (5mL) + 生食 20mL 側管静注
  - ☆ 1 時間後より
- ④ ダラザレックス + 生食 適量(全量 500mL)
  - \* 希釈後の総量 500mL とし点滴静注を開始(※注意参照)
  - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注を開始(※注意参照)
- ⑤ 100 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、
  - ◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、
  - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

day 2, 9, 16, 23

レナデックス錠 20mg 内服

## 【3-6 コース目】

day 1, 15

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② レスタミン (10mg) 5 錠 内服
  - カロナール (500mg) 2 錠 内服
  - モンテルカスト (10mg) 1 錠 内服
- ③ デキサメタゾン注 16.5mg (5mL) + 生食 20mL 側管静注
  - ☆ 1 時間後より
- ④ ダラザレックス + 生食 適量(全量 500mL)
  - \* 希釈後の総量 500mL とし点滴静注を開始(※注意参照)
  - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注を開始(※注意参照)
- ⑤ 100 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、
  - ◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、
  - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

DLd 療法

day 2, 16

レナデックス錠 20mg 内服

day 9, 23

レナデックス錠 40mg 内服

### 【7 コース目以降】

day 1

① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20mL/時間)

② レスタミン (10mg) 5 錠 内服

カロナール (500mg) 2 錠 内服

モンテルカスト (10mg) 1 錠 内服

③ デキサメタゾン注 16.5mg (5mL) + 生食 20mL 側管静注

☆ 1 時間後より

④ ダラザレックス + 生食 適量(全量 500mL)

\* 希釈後の総量 500mL とし点滴静注を開始(※注意参照)

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注を開始(※注意参照)

⑤ 100 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、

◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注

⑥ 150 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、

◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

day 2

レナデックス錠 20mg 内服

day 9, 16, 23

レナデックス錠 40mg 内服

1-2 サイクル目

	1 コース				2 コース			
	day1	day8	day15	day22	day1	day8	day15	day22
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
ダラザレックス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								

## DLd 療法

## 3-6 サイクル目

	3 コース		4 コース		5 コース		6 コース	
	day1	day15	day1	day15	day1	day15	day1	day15
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
ダラザレックス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								

## ※7 サイクル目以降

	コース	コース	コース	コース	コース
	day1	day1	day1	day1	day1
月日	/	/	/	/	/
ダラザレックス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					

	コース	コース	コース	コース	コース
	day1	day1	day1	day1	day1
月日	/	/	/	/	/
ダラザレックス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					

	コース	コース	コース	コース	コース
	day1	day1	day1	day1	day1
月日	/	/	/	/	/
ダラザレックス 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					